

**ぴあ株式会社が、中国の興行イベント企画制作企業に出資、
日本内外の優良コンテンツの、中国・東アジアへの輸出仲介事業に着手
～中国国内での興行許可取得会社に対する、日系企業による初の出資参画が実現～**

このたび、ぴあ株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:矢内廣、以下「ぴあ」)は、北京を中心に興行イベント企画制作事業を展開する、北京希肯国際演出有限公司(本社:中国北京市東城区、董事長:安庭、以下「北京希肯」)に出資参画し、日本内外の優良コンテンツの中国・東アジア地域への輸出・仲介事業を本格化することと致しました。これにより、同社の正式名称は「北京ぴあ希肯国際文化発展有限公司」(以下「ぴあ希肯」)に改められます。

ぴあ希肯の前身である北京希肯国際演出有限公司は、中国国内で興行イベント制作事業・モデルエージェント事業・芸術品交易(オークション)事業などを展開する希肯グループの一社として2000年に設立され、興行イベントの企画制作事業を展開しております。中でも、中国保利集团公司(*1)の文化関連事業と長期的に密接な関係を持っており、主に同グループの保有する中国最大の劇場ネットワーク「保利劇院」(中国国内主要都市に67館を展開)における、各種エンタテインメント興行の仲介・プロデュース事業等を運営しております。

この間、当社では、北京希肯との間で、日中間における興行コンテンツの輸出入の活性化を目的とした協議を続けてきました。その結果、今後、大きな成長が期待される中国国内のライブ・エンタテインメント市場において、優良なコンテンツの輸入、事業拡大に向けた資金、チケット販売・プロモーションノウハウなどを求める北京希肯に対し、ぴあを含む日本企業3社(ぴあ株式会社、株式会社セブン&アイ・ネットメディア、株式会社経営共創基盤)が出資参画することになり、合併会社・ぴあ希肯の発足が実現したものです。なお、中国国内における興行許可取得会社への日系企業の出資参画は、初の事例となります。

日本のライブ・エンタテインメント市場は約4千億円ですが、最も一般的な音楽ジャンルにおいても、中国国内での公演数、市場規模はともにまだ日本の30%程度と推測されます(以下出典後述)。日本の年収5百万円以上の人口と中国の年収5万元以上の人口を比較すると、現在でも中国は日本の約15倍、2020年には約40倍に増加すると見られ、今後の経済発展と合わせて、市場規模の飛躍的な拡大が期待できます。

当社の出資参画の主たる目的は、今後の東アジア地域での事業展開の起点となる中国に拠点作りを行うこと、ならびに、これまで単発的な企画が主体であった中国での興行形態を変革し、全国ツアー形式で開催可能な海外コンテンツを仲介することで、成長が期待される中国市場における商社的な役割を担うことにあります。中国国内に全国最大のホール・劇場ネットワークを持つ、興行許可取得会社への日系企業の初参画により、中国への輸出供給を狙う日本のプロダクション・コンテンツホルダーに対して、信頼性の高い新たなビジネス導線を提供したい考えです。

今回合併会社の発足が、日中間の新しい文化交流の架け橋となることを目指し、両国のライブ・エンタテインメント市場の成長に向けたアプローチを本格的に開始します。

(*1)中国保利集团公司…中華人民共和国國務院の承認のもと設立された中央国営企業。北京に本社をおき、貿易・不動産事業を中心に事業展開を行っているが、近年は特に、テレビ局や博物館、映画館の経営などの文化関連事業にも注力している。

【合併会社の概要】

名称 : 北京ぴあ希肯国際文化発展有限公司
中国語名称:北京希肯琵雅国际文化发展有限公司
英語名称:BeiJing CHIC-Pia International Culture Development Co., Ltd.

所在地 : 中華人民共和国北京市東城区東直門南大街 14 号

設立 : 2014 年 11 月 15 日(工商局による認可日)

資本金 : 69.4556 万人民币元

出資比率: 北京希肯国際文化芸術有限公司 63.50%
ぴあ株式会社 22.14%
株式会社セブン&アイ・ネットメディア(7NM) 11.75%
株式会社経営共創基盤(IGPI) 2.61%

代表者 : 董事長 安庭(アン ティン)

役員構成: 董事長 安庭
副董事長 白井衛(ぴあ株式会社取締役)
董事 周迎・張衛華・陳紅衛
(監事 鈴木明典・劉曉力)

事業内容: ・中国国内における興行の企画・制作・上演及びそれらの受注
・中国国内への海外興行の招聘・上演及びそれらの受注

設立目的: 出資参画 4 社の有する信用・事業経験・ノウハウ・人材等を活用し、中国国内外におけるライブ・エンタテインメント関連事業を展開する。これにより、文化産業の発展に貢献すると共に、出資会社に対しての持続的な利益を実現する。

(本件に関するお問い合わせ)

ぴあ株式会社 広報担当/小林、大木 TEL:03-5774-5294

FAX:03-5774-5394 E-mail:koho@pia.co.jp

【参考(1)】 中国のエンタテインメント市場規模に関する関連データ

中国演出行業協会が出している「中国演出市場報告」の 2013 年版にて確認すると、2013 年の中国国内における市場規模は下記の通りとなっています。

- ・音楽系の公演数は 16,500 公演、チケット売上 43.06 億元(日本市場は 2,471 億円)。
- ・舞踏系の公演数は 6,200 公演くらい、チケット売上 7.18 億元(日本市場は 54 億円)。
- ・演劇系の公演数は 11,200 公演、チケット売上 15.94 億元(日本市場は 367 億円)。
- ・戯曲系の公演数は 15,300 公演、チケット売上 9.08 億元。
- ・雑技系の公演数は 8,500 公演、チケット売上 6.22 億元。

日本の市場規模と比較すると、音楽系で見ても公演数、規模ともにまだ日本の 30%程度です。

※出典:中国演出行業協会「中国演出市場報告」2013 年版

【参考(2)】 中国の国民一人当たりのライブ・エンタテインメント市場規模推計

中国ライブ・エンタテインメント市場規模は、人口増加・所得水準の上昇を背景に今後ますます増加していくものと予測されます。中国社会科学院によると、都市部世帯において可処分所得が 5 万元前後以上の人口は 2004 年時点で 7,500 万人(全人口比 5.7%)存在し、2020 年には全人口比 38%前後と現在の約 3 倍に増加し、日本の総人口を大幅に上回る規模になるとされています。

日本の年収 5 百万円以上人口と中国の年収 5 万元前後以上人口を比較すると、

- ・中国(2004 年推計 18,642 万人)は日本(2012 年 1,234 万人)の少なくとも約 15 倍以上
 - ・2020 年/中国は 52,736 万人、日本は現在と同水準と推計すると中国は日本の約 40 倍
- 一定所得層以上人口の両国比較から推察すると、中国のライブ・エンタテインメント市場は、現時点でも日本のライブ・エンタテインメント市場 3,842 億円(2013 年/音楽+ステージ)の 15 倍にあたる約 5 兆円規模のポテンシャルをもち、さらに 2020 年には 40 倍=約 15 兆円に拡大する可能性を秘めていると言えます。

※出典(中国):中国社会科学院データ(以下サイトから引用)

http://www.nissui.co.jp/academy/market/10/market_vol10.pdf

出典(日本):ぴあ総研受託調査「2014 ライブ・エンタテインメント白書」

国税庁「平成 24 年民間給与実態統計調査」